

安心安全な夜の街なかを!

宮崎 健 (自民さが)



夜の繁華街で駐停車や客待ち、客引きの問題等が起こっている。これまでも議場で議論をなされたが、その認識のズレからか未だに関係機関と協議・提案がなされていない。早期に関係機関、とりわけ佐賀市安全推進協議会に提案すべきと思うが、市の見解は?

答弁 地域の代表、青少年関係団体、警察などの関係機関の代表で構成される生活安全推進協議会の開催を今年度末までに予定しているのので、まちなかにおけるマナーアップ、客待ち、客引き、路上駐停車に関して議題として提出し、よりよい方向に向け議論いただきたいと考えている。

子どもたちの交流 事業への支援を

黒田 利人 (自民市政会)



次の時代を担う子どもたちの他都市・他国との交流は、文化・習慣・風習を学ぶことができ、その経験は、子どもたちにとって将来、大きなものになる。特に、民間や地域で行われている交流事業には行政の積極的な支援が必要であると思うが、市の考えは。

答弁 平成14年に始められた新栄小学校と韓国トヒョン小学校の小学生の相互訪問交流は、新栄校区の地域、学校、保護者の熱意と尽力で実現し、18年間、民間の交流を続けられている。本市では、皆様の有意義な交流が長く続くことを念頭に、現在、訪問団のバスの経費や歓迎会の経費の一部を支援している。今後市民による姉妹都市交流を支援していきたい。

◆その他◆明治維新150年事業と今後の取り組みについて



中小企業・小規模 企業の振興は!

江頭 弘美 (自民さが)



市内の中小企業・小規模事業者適切に支援施策を届けるためには、施策を立案する行政、施策を届ける商工会議所・商工会、そして施策を利用する事業者間の施策情報の流れや連携の在り方などを、今一度抜本的に見直してみる必要があるのではないかと。

答弁 国、県、市及び公共団体において①各種広報媒体等を活用して行う広報②経済団体の経営指導員による個別・団体指導、経営団体の会報等による広報③金融機関による融資の相談時などさまざまな手段、場面で事業の紹介が行われている。本市では、ホームページ、市報への掲載や、労政だよりの発行で周知に努めているが、十分に行き届いていないこともある。関係団体と情報交換を行うとともに、

他団体の状況、技術革新等による情報伝達方法の変化などを注視し、広く伝わるよう努めたい。



シチメンソウの 再生を早急に!!

山田誠一郎 (国民民主)



①現状と再生の取り組みについて②来年度のシチメンソウまつりについて③復活のため来年に向けての取り組みは④令和2年10月完成予定の拠点施設でのPRについての考えは⑤再生のためには国等関係機関への働きかけが必要では?

答弁 ①平成30年10月にシチメンソウのヤード全域で立ち枯れが発生し、生育良好なシチメンソウの種をまいたり移植を試みたが、厳しい状況である②生育状況の改善を願い、まつりの実行委員会の協議の状況、決定を見守っていく③情報収集と原因究明に努める。また、原因の調査を佐賀大学に依頼しており、結果をもとに対策を検討する④シチメンソウの標本を展示し魅力の発信を行う⑤整備から20年が経過し環境の変化を感じている。ヤードの構造的改修が必要なら国や県に働きかけていきたい。



シチメンソウの種まき

12月10日(火)

神野公園再整備
計画の進捗状況は!?



永淵 史孝 (自民政新会)

①今現在の進捗状況は②整備プラン案において変化が見られるのはどこか③整備方針の遅れはなぜなのか④今後の公園運営にパークPFIの導入の可能性は⑤市のパークマネジメントの確立についての考え方は。

答弁 ①大型車駐車場整備のため、平成30年度に東側のエリアの現況測量を実施している②とんぼ池や小動物園、野外音楽堂を廃止し芝生公園を整備する③今ある施設が必要と考えている方が過半数を占めているためである④公園利用者や事業者の意見を聞きながら調査研究を進めたい⑤再整備計画を進める中で、その有効性について先進地の例も参考にしながら調査研究を行いたい。



現在の神野公園

◆その他◆医療的ケアの必要な児童・生徒への対応について／市道三溝線再整備について

12月11日(水)

頻発する自然災害に
万全の備えを!



村岡 卓 (公明党)

災害に対し様々な情報や知識がありながらもなかなか避難行動には結びついていない。①大規模災害に備え「命を守る行動」をどう考えているか②備蓄品に液体ミルクを用いる自治体も増えた。市での検討は③マイ・タイムラインを活用することの効果は。

答弁 ①事前の備え及び早めの避難が重要であり、地域の災害リスクやハザードマップ、自助・共助の大切さを認識し、防災意識を高めるため、職員出前講座や総合防災訓練等の啓発を積極的に行いたい②備蓄倉庫での管理と賞味期限から、民間業者と協定を結び流通備蓄で対応する。今後、他市の事例を研究したい③作成の過程で地域の災害リスクを認識し、避難場所へ避難するタイミング等を具体的に時系列に作成するため、災害への備えとして有効と考えている。



防災グッズ

◆その他◆佐賀市の文化振興

市営住宅の空き室を
シェアハウスに



松永 幹哉 (自民さが)

公営住宅は、公営住宅法に基づき入居要件が定められているが、自治体が国土交通大臣の承認を受ければ、目的外使用として空き室を貸し出すことができる。市営住宅の空き室の利活用として、高齢者等のシェアハウスの事業展開ができないか。

答弁 条例により市営住宅の入居者は親族に限られている。また、他入同士が同居する場合、プライバシーの確保が重要だが、現在の市営住宅の間取りは、共有部分と個室部分の機能を分離するなどプライバシーを考慮したつくりになっていないので、改築、改装が必要となる。このため、今のところシェアハウスでの利用は困難と考えているが、地域のニーズを十分に把握していない状況なので、今後調査したい。



◆その他◆ICTの推進とデジタル手続法について

本市のバリアフリー
基本構想を急げ



平原 嘉徳 (自民市政会)

これまで障がい者当事者の意見を聴取する場が開かれていない。令和5年の全国障害者スポーツ大会開催まで3年を切ったが、九州の県庁所在地でバリアフリー基本構想を策定していないのは本市のみである。基本構想を早急に策定すべきと考えるが、市の見解は。

答弁 基本構想は、バリアフリー化を重点的かつ一体的に整備することが必要な地区として、重点整備地区を設定し、その中で、公共交通機関や建築物、道路など、面的なバリアフリー化を推進するものである。その内容は、多岐にわたり、本市は、これまで各部署でバリアフリー化を推進してきたことから、基本構想の検討にはまだ至っていない。しかし、高齢者、障がい者等の自立した日常生活、社会生活の確保は必要であるため、関係部署と連携しながら、他市の事例などを研究していきたい。



2019 チャレンジフォーラム

土木工事の入札

不調・不落対策は？

堤 正之 (自民政新会)



①土木工事で入札不調などが急増しているが実態は②二年連続の大雨被害の復旧工事が遅れているが平成30年度災害への対応は③本年の災害への対応も未着手であるが、水稲の作付けができるよう、仮復旧、二次災害防止など被災者に寄り添った対応が必要では。

答弁

①土木工事の入札不調・不落は平成30年度21件で約2億6千万円、令和元年度69件で約10億2千万円。全国的な大型建設事業の増加により、技術者、建設資材、機材の確保が困難であり、さらに災害復旧工事が増加したことが主な原因である②平成30年度に発生した災害復旧工事は令和2年度中の工事完了を目指し、今年度発生した災害は、現在の国の災害査定を受けており、順次発注を行いたい③今後は農家の耕作意欲の低下を招かないよう、意見や要望を聞き早期復旧に努めたい。



人権擁護の取り組みの充実を！

組みの充実を！

野中 康弘 (社会市民クラブ)



現代社会においては、新たな人権侵害の事例も増えている。人権擁護の取り組みについて①考え方と主な事業は②市民の人権意識はどうか③市として近年の重点的な取り組みは④学校における子どもたちへの人権教育は。

答弁

①国籍、性別、世代などの違いを超え、ともに支え合う共生社会の実現を基本理念としている。主な取り組みは、マスメディア等活用した啓発、相談窓口の開設や講演会、研修会の開催を行っている②年間約300の研修会を開催しており、人権への理解や人権意識の高揚につながっていると考える③近年はインターネットによる人権侵害や多様な性のあり方などを年間テーマとし研修等を行っている④人権・同和教育年間指導計画に基づき、講和や人権劇の開催などで意識向上に努めている。



人権ふれあい講演会

公共交通における安全安心な対策を

安全安心な対策を

中村 宏志 (公明党)



①市営バスの利用状況は②バス停の総数と交通安全上の問題があるバス停は③交通事故事例と危険度判定の調査内容は④国スポ・全国障害者スポやサングラスパーク利用時のバス利用の待ち時間や乗降時等の安全対策が必要ではないか。

答弁

①平成30年度は約325万人で、前年と比較して約28万人の増加である②692カ所のバス停を設置している。その中で横断歩道に近接しているバス停が4カ所ある③市営バスを起因とした事故は発生していない。調査の内容は、危険なバス停を抽出し、安全対策の検討を行い、危険なバス停の改善を促す予定であると聞いている④今後国土交通省によるバス停の安全性確保対策の方針に従って、さらに安全なバス待ち環境を整備していきたい。



◆その他◆

防災対策について／防犯対策について

シチメンソウ

再生への取り組み

重松 徹 (自民市政会)



東よか干潟は、国内最大のシチメンソウの群生地として県内外に知られているが、平成30年10月から急に立ち枯れが始まりシチメンソウヤード全体の広範囲が立ち枯れ状態である。シチメンソウの再生は市にとっても大変重要であるが、再生に向けた市長の考えは。

答弁

東よか干潟は、国内最大のシチメンソウの群生地として県内外に知られているが、平成30年10月から急に立ち枯れが始まりシチメンソウヤード全体の広範囲が立ち枯れ状態である。シチメンソウの再生は市にとっても大変重要であるが、再生に向けた市長の考えは。

◆その他◆

学校の「当たり前前」を見直す教育



①シチメンソウ最盛期
②現在立ち枯れの状態

12月13日（金）

地域おこし協力隊の
募集と活動は



松永 憲明（社会市民クラブ）

①隊員の配置状況と募集に関する問題は②隊員の活動メニューは柔軟に考えられているのか③農林水産部と地域振興部にまたがった募集を一元化できないか④活動が地域住民にも見え、その後の起業と定住につながるための決意は。

答弁 ①農林水産部の隊員は2名中1名が欠員、地域振興部は現在2名で2月に1名を配置する。目的である定住という概念がなく応募された例もあり、特色を生かした募集や事業趣旨への理解が必要②任務以外の活動は隊員自らが決定し取り組むこととしており、柔軟な活動はできる③募集は別々だが、連携しながら募集活動を行っている④中山間地域の人口減少等を食止め、隊員が活動後も定住できるように、地域力の維持、強化を図りたい。
◆その他◆教職員の働き方改革と定数増について



隊員が活動した三瀬の直売所

次世代型公共交通
施策の推進を！



久米 勝也（国民民主）

SAGAサンライズパークへの公共交通機関やまちなか周遊バスを、自動運転バスやグリーンスローモビリティで運行するような、次世代型公共交通施策を次期公共交通ビジョンに組み込めば、佐賀市をアピールでき、楽しい街づくりができると思うがどうか。

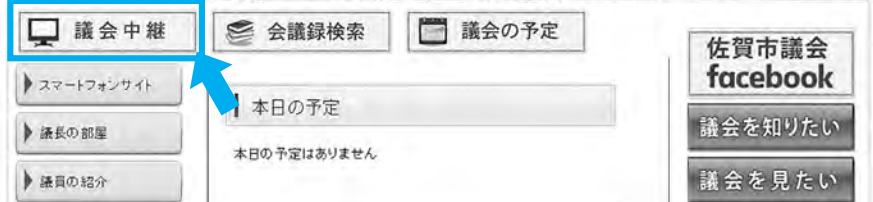
答弁 自動運転は、実証実験の段階で、実用化に向けた法整備と技術開発が進められているが、既存の公共交通機関との兼ね合いも含め、現時点では、課題が多いと認識している。だが、自動運転バスやグリーンスローモビリティの活用は、まちなかの活性化や環境に配慮した取り組みとして市のイメージアップにつながり、よい素材ではないかと思う。今後の動向や他市の取り組み成果を注視しながら、計画にどう位置付けていくか検討していきたい。
◆その他◆投票率向上に向けた取り組みについて



電気自動車

本会議のテレビ放映・動画配信

本会議をぶんぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。また、本会議の動画配信や議事録検索、市議会議員名簿などを議会ホームページに掲載しています。
ホームページの「議会中継」をご覧ください。



佐賀市議会 H P

佐賀市議会

佐賀市議会
facebook
議会を知りたい
議会を見たい